

ぐるぐるつくる大学セミナー・ハウス 第21回ワークキャンプ

<http://www.guruguru-tukuru.com/>

< 使い続けることを模索する、建物ツアー、夜話、ワークショップの1泊2日 >

開館し50年以上使われ続けている吉阪隆正+U研究室設計の大学セミナー・ハウス（1965年竣工）に宿泊し、建築、ディテールを楽しみながら、設計思想に触れるワークキャンプです。

建物群を散策し、建築をつくること、使い続けること、読み解くことの意味を考え、これからも利用者に愛されるための方法やサポートを、参加者みんなで考えてかたちにしていきます。

日時：2024年**6月1日(土)** ^(11時～) **13時～2日(日)** ～お昼頃

場所：八王子 大学セミナー・ハウス（東京都八王子市下柚木1987-1）

photo@E.Kitada



<プログラム>

○ワークキャンプ

1日(土)

11時～ 建物ツアー、道の点検
(参加希望の方は集合してください)
12時 昼食(各自持参)
13時～ 受付
13時半 オリエンテーション、自己紹介
14時～ ワークキャンプ 竹を伐る
17時～ 夕食(バーベキュー)

— 長期館に宿泊 —

2日(日)

9時～ ワークキャンプ 竹の手摺をつくる
12時 昼食(食事後に解散)



○夜話

1日(土) 19時半～

前段「吉阪隆正と大学セミナーハウス」 齊藤祐子
「竹と建築」 北田英治
後段「難民キャンプをつくるということ」 神谷啓介

2009年の西スマトラ地震から、ハイチ地震、南スーダン紛争、ネパール地震、ロヒンギャ危機、シリア危機、ウクライナ戦争、トルコ地震などなど、国際ニュースでしか知ることのない現場で活動をしています。現在も海外での災害や紛争は広がり続け、その現場でしかわからないことから、自分の目で情報を理解して判断することが本当に必要な時代になっています。

そんな中、いくつかの現場での、現地で豊富に調達できる材料の竹を手がかりにした活動を中心にお話しいたします。



【ゲスト】
神谷啓介 (かみや けいすけ)
元・国連国際移住機関(IOM) 職員

1978年愛知県知多市生まれ、2002年早稲田大学建築学科卒業
2003年から、神楽坂建築塾の活動に参加し、2007年東チベット小学校建設プロジェクト現場担当

2013年オックスフォード・ブルックス大学建築学部修士課程修了後、国連国際移住機関(IOM)に勤務し、Shelter and Settlement 担当官/Shelter Cluster調整官等として活動

自然災害・紛争被災地での緊急人道支援において、仮設住居、避難民キャンプの計画とオペレーションを担当

<参加申込み>

申し込みは、[「Peatix」イベントサイト](#) から
社会人/学生、宿泊/日帰り、朝昼夕の食事組合せから選択下さい。

【宿泊+夕食+朝食+昼食の場合】
社会人：¥12,000、学生：¥10,000

「Peatix」イベントサイト
QRコード



<問合せ>

ぐるぐるつくる大学セミナー・ハウス実行委員
info@guruguru-tukuru.com
atelierサイト一級建築士事務所内
Tel/fax 03-3371-2433

[ぐるぐるつくる]
で検索
又はQRコードから

